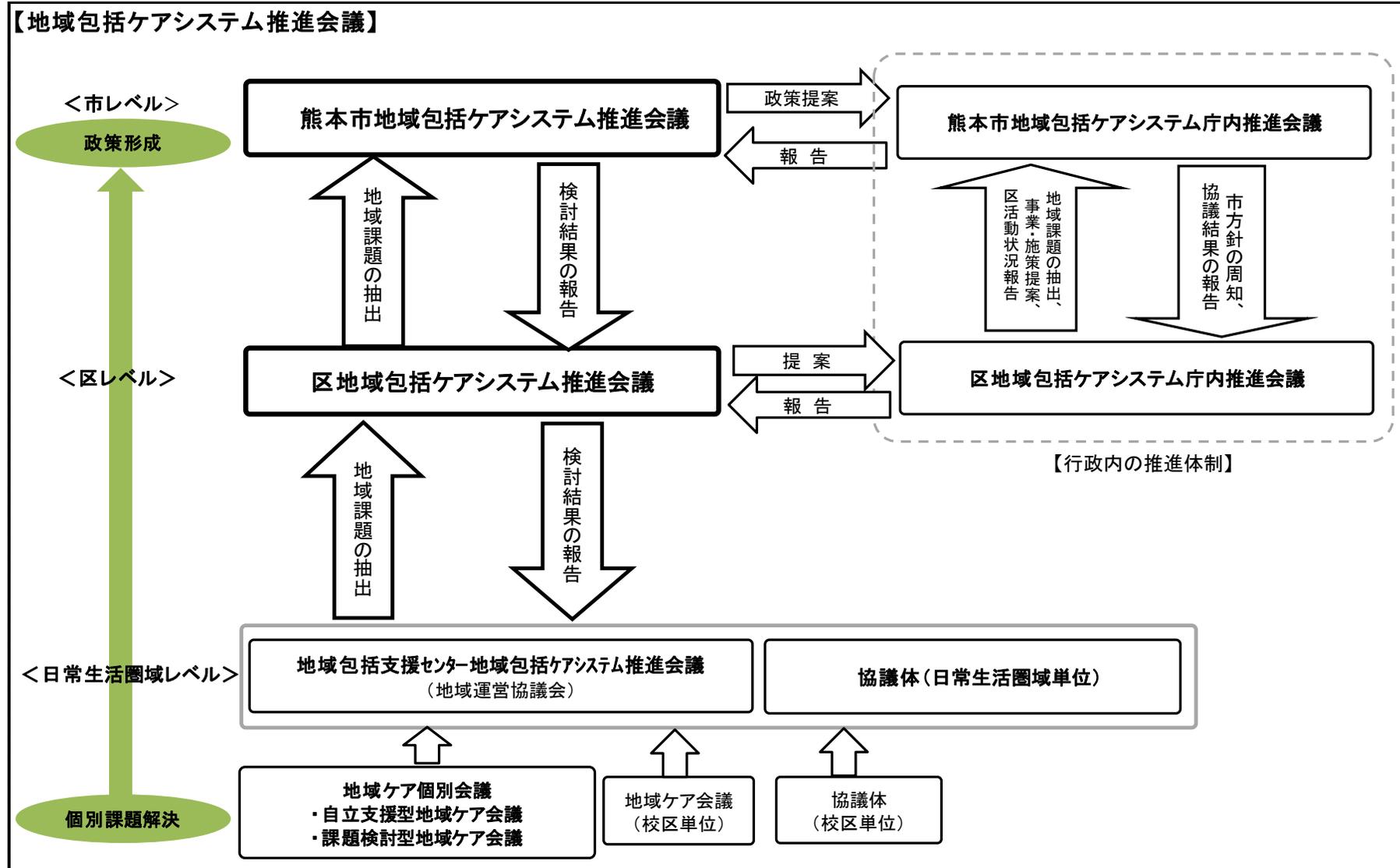


熊本市地域包括ケアシステム推進会議報告



地域包括ケアシステム推進体制



第1回北区地域包括ケアシステム推進会議ふりかえり

市地域包括ケアシステム推進会議(第1層)への 提案する課題について

- (1) 高齢者等の移動手段にかかる課題に伴い体制整備が必要
- (2) ニーズの多様化による受け皿の体制づくりと担い手育成
- (3) 医療介護連携の不足
- (4) 地域包括ケアシステム推進に向け地域の推進体制づくり



熊本市地域包括ケアシステム推進会議

○令和8年1月20日 開催

○メンバー

熊本県立大学・熊本市医師会・鹿本医師会・熊本市歯科医師会・熊本県精神科協会・熊本市薬剤師会・熊本県看護協会・熊本県栄養士会・熊本県理学療法士協会・熊本県作業療法士会・熊本県言語聴覚士会・熊本県社会福祉士会・熊本県介護福祉士会・熊本県介護支援専門員協会熊本市支部・熊本市老人福祉施設協議会・熊本県老人保健施設協会・熊本県地域密着型サービス連絡会熊本市ブロック会・熊本市地域包括支援センター連絡協議会・熊本市社会福祉協議会・熊本市民生委員児童委員協議会・認知症の人と家族の会熊本県支部・熊本市シルバー人材センター・熊本市老人クラブ連合会・熊本市食生活改善推進員協議会・熊本市8020健康づくりの会・各区システム推進会議委員・熊本県警察本部生活安全部人身安全対策課・熊本青年会議所・熊本市健康福祉局

○議事

- (1)各区における地域包括ケアシステム推進状況について
- (2)各区の主要課題に対する取組の検討(別紙)
- (3)事例紹介:南区における「人生会議」の普及啓発の取組

課題に対する市の取組状況・今後の方向性について①

移動について

- 地域支え合い型サービスの活動団体数増加に向け働きかけを継続していく(高齢福祉課)
- 社会資源の一元的な把握に取り組む(高齢福祉課)
- 「熊本市お買い物サポート便利帳」を令和8年度に更新しホームページ公開予定(商業金融課)
- 市町村やNPO法人等が自家用車を用いて運送サービスを提供する公共ライドシェアの先進事例の情報収集に努めていく。(地域交通支援課)

担い手育成

- 短期集中予防の受託事業所増加を図るため事業所へ働きかけを行っていく(高齢福祉課)
- 通いの場の支援体制として活動費助成やリハビリテーション専門職派遣等に取り組みながら、補助制度や支援事情の見直しを検討していく(高齢福祉課)
- 地域包括支援センターに配置している生活支援コーディネーター向け研修や情報交換を実施していく(高齢福祉課)
- 各まちづくりセンターの地域担当職員を増員し地域における担い手不足解消に取り組んでいく(地域政策課)

課題に対する市の取組状況・今後の方向性について②

医療介護連携

- 在宅療養や看取りの連携体制を整備し、在宅医療のテーマについて「認知症」「感染症」「災害時の対応」も新たな視点とし協議していく(医療対策課)
- 関係団体との研修、各種事業などの機会を捉え医療介護連携に取り組んでいく(高齢福祉課)

地域包括ケアシステム推進体制づくり

- 区各から共有された地域課題については、2040年を見据え、市全体での課題整理と具体的な取り組み検討を継続的に進め、来年度に予定している「はつらつプラン」の改定の中で整理していく(高齢福祉課)

南区における「人生会議」の普及啓発の取組

- 令和3年から在宅医療・終末期医療を考える機会とする人生会議セミナーを開催
- 熊本市のメッセージノートを参考に、「私の思い手帳」をおくすり手帳サイズに作成し、これからの人生、最期はどこで、だれと、どのように迎えたいか記し家族と共有する時間をもっていただくよう啓発している。
- 参加者からは「自分も家族も後悔しないような最期を迎えることの大事さ、重要性を感じた」等の感想がある。区の推進会議では、人生会議やメッセージノートの市全域啓発等の意見があった。

意見交換(一部抜粋)

○人生会議セミナーについては、講演を聞いたことがある方も多く、本人の意思を尊重し家族で話し合う時間が大切であり、ぜひ市全域で取り組んでほしい。また、専門職は、意思決定支援のガイドラインを理解し周知してほしい。

○医療対策課より、出前講座はより身近に感じる内容にしていきたい。

○医療介護福祉の連携や自分がどう生きていきたいかについて、「くまもとメディカルネットワーク」にて、生活情報や思いを記すことができるため活用してほしい。

○移動について、東区・北区から市推進会議の検討事項として意見を挙げている。AIデマンドタクシーやバスも少なく、免許返納、交通事故、渋滞などにも関連する問題である。インフォーマルに頼るだけでは限界がきている。高齢福祉課だけでなく、関係課、関係機関など全市的に、喫緊の課題として早急に対応してほしい。